

報道関係者各位

LIMEX 名刺が、「2017年度 グッドデザイン賞 グッドデザイン・ベスト 100」を受賞

石灰石を主原料とし、原料に水や木材パルプを使用せず紙の代替や石油由来原料の使用量を抑えてプラスチックの代替となる新素材「LIMEX(ライメックス)」を開発・製造・販売する株式会社 TBM（本社：東京都中央区、代表取締役：山崎敦義、以下 TBM）の LIMEX 名刺は、このたび 2017 年度グッドデザイン賞の受賞作品の中でも、さらに特筆して優れた 100 件が選ばれる「グッドデザイン・ベスト 100」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。革新的な環境性能とデザイン性、プロダクトの社会的意義を追求した結果、高く評価されました。当社では今回の受賞を契機に LIMEX 名刺の販売拡大を図るとともに、ものづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進し、ブランドイメージの向上に務めてまいります。



□ 製品名称：LIMEX 名刺

□ 製品概要：石灰石を主成分にした LIMEX は、紙・プラスチック製品の代替となる日本発の新素材です。素材開発から 6 年の歳月を経て LIMEX 名刺が初めて製品化されました。通常、紙の製品を製造する際、大量の水と木材パルプが使われます。LIMEX から紙の代替製品をつくる際、その原料に水や木材パルプを使用しないのが特徴です。1 箱 100 枚の名刺で約 10 リットルの水を守れます。LIMEX 名刺は環境性能の他、価格競争力があり、機能性では耐水性、耐久性があり、指切れもしません。名刺の箱も LIMEX から作られています。箱に刻まれたメモリは、ユーザーが名刺を取り出す際、水資源への貢献を認識しやすいデザインとして施しています。

□ プロデューサー：TBM 代表取締役 山崎 敦義、アマナ 未来創造ルーム 片岡 圭史

□ ディレクター：TBM 執行役員 笹木 隆之、渡邊 将史、木島 理紗子

□ デザイナー：電通 アートディレクター 小野 恵央

■ デザイナーからのコメント

LIMESTONE（石灰石）と X（無限の用途の可能性）から名付けられた新素材「LIMEX」は、地球規模でエコノミーとエコロジーを両立した素材革命を起こす可能性を秘めています。20 世紀は石油を巡って経済的戦争が繰り返されましたが、21 世紀は水をめぐる紛争の世紀になってしまおうと言われています。LIMEX の普及が進むことで水資源に大きく貢献することが可能です。初めて LIMEX から製品化された「LIMEX 名刺」をパッケージングするにあたり、ユーザーに簡潔に、そして直感的に、LIMEX の優位性を伝える必要がありました。「100 枚の名刺で約 10 リットルの水を節約できる」という事実から、LIMEX 名刺のパッケージの側面に「10 のメモリ」をあしらいました。箱から名刺を取り出す際に、水資源に貢献している量をユーザーは認識できます。素材の特徴と環境に対するメッセージが統合されたデザインとなっています。

■ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

近い将来の水問題や地球環境資源問題に目を向け、原料に水や木材パルプを使用せず、石灰石を主成分とした紙の代替製品からつくられていることが新しい。その石灰石は、木材パルプと比較して安価であり、エコロジーとエコノミーの両立が可能であること。機能性では耐水性、耐久性があり、指切れせず、表面が滑らかで普通の印刷に問題はないこと。実物が直接人から人へと手渡しされる「名刺」というかたちで、この素材を訴求するという考え方。この制作会社は、日本のものづくりの力を復活させたいと思う若手と、高度経済成長の時代に技術立国の原動力として活躍されたシニアを集結し、被災地に新しい雇用を生んでいるということ。これら、環境と人に対する課題への取り組みを高く評価した。

■ グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」に出展

本年 11 月 1 日(水)から東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」において、LIMEX 名刺が本年度受賞デザインとして紹介されます。

GOOD DESIGN EXHIBITION 2017

会期：11 月 1 日（水）～11 月 5 日（日）

会場：東京ミッドタウン（東京都港区六本木） <http://www.g-mark.org/gde2017/>

■ グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「G マーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



■ 新素材「LIMEX（ライメックス）」について

[LIMEX とは]

- ・ LIMEX は石灰石を主原料に紙やプラスチックの代替となる、エコノミーかつエコロジーな革命的な新素材。
- ・ 2013 年、経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に採択。
- ・ 2014 年、国内特許を取得。現在、米国や欧州など世界 43 カ国にて特許を取得・申請中。
- ・ 2015 年、宮城県白石市に年産 6,000 トンの LIMEX を製造する第一工場を建設。
- ・ 2016 年、米国シリコンバレーの「Plug and Play」で初の『世の中に最も社会的影響を与える企業ソーシャルインパクトアワード』を受賞
- ・ 2017 年、「第 7 回日米イノベーションアワード」において『イノベーション・ショーケース』を受賞

[紙の代替として]

- ・ 通常、普通紙 1 トン生産する場合、樹木を約 20 本、水を約 100 トン使うが、LIMEX は原料に木や水を使用せず、石灰石 0.6~0.8 トンとポリオレフィン約 0.2~0.4 トンから LIMEX の紙代替製品 1 トンを生産可能。
- ・ 「耐水性」が高く、浴室や水回り、屋外や水中での利用が可能。経年劣化に強く、半永久的にリサイクル可能。

[プラスチックの代替として]

- ・ 従来のプラスチックの原料は石油由来樹脂 100%であるが、LIMEX では主原料が石灰石であり、石油由来樹脂の使用量を大きく削減可能。
- ・ 単価の安い石灰石を主原料とすることで価格競争力を有する。
- ・ LIMEX の印刷物等のリサイクル材から、LIMEX 製のプラスチック成型品を作れ、環境負荷軽減に貢献できる。

[資源としての石灰石の埋蔵量]

- ・ 日本でも 100%自給自足できる資源。世界各地の埋蔵量も豊富で、ほぼ無尽蔵。

[LCA（ライフサイクルアセスメント）]

- ・ 2016 年 4 月から国立大学法人東京大学 生産技術研究所 沖研究室と共同研究を実施し、ライフサイクルアセスメント手法を用いて、LIMEX の紙代替製品および、LIMEX のプラスチック代替製品の原材料から製造までのウォーターフットプリント（水消費量）および、CO2 排出量を算定。
- ・ LIMEX 紙代替製品のウォーターフットプリント（「原材料調達」から「製造」工程）は、塗工印刷用紙の平均消費量と比較して、約 98%少ない水の消費。
- ・ LIMEX 紙代替製品の温室効果ガス排出量（「原材料調達」から「製造」工程）は、塗工印刷用紙の平均値 CO2 と比較して、約 3%小さい排出量。
- ・ LIMEX プラスチック代替製品の温室効果ガス排出量（「原材料調達」から「製造」工程）は、ポリプロピレン製の従来プラスチックと比較して、約 37%削減。
- ・ 今後、原材料選定や製造プロセスの見直しなど、温室効果ガス排出量をさらに低める活動を継続的に行っていく。

■ 株式会社 TBM

| | |
|-------|---|
| 代表取締役 | : 山崎 敦義 |
| 本社 | : 東京都中央区銀座 2-7-17-6F |
| 設立 | : 2011 年 |
| 資本金 | : 50 億 7,000 万円（資本準備金含む） / 2017 年 5 月時点 |
| 事業内容 | : LIMEX 及び LIMEX 製品の開発・製造・販売 |
| URL | : http://www.tb-m.com |

*本ニュースリリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

*本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

————— この件に関するお問い合わせ先 —————

株式会社 TBM コーポレート・コミュニケーション本部 笹木隆之、渡邊将史
TEL: 03-3538-6777 FAX: 03-3538-6778 Email: infomail@tb-m.com